

令和元年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越市清里区の人々と生活文化を継承・創造するプロジェクトⅠ
2 事業推進者等	自然・生活教育学系 教授・小高さほみ
3 学外の連携機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梨平集落 会長 綿貫正栄 ほか梨平集落の皆さん ・ 上越市自治・市民環境部清里区総合事務所総務・地域振興グループ 地域振興班長 長澤政英、主事 田中智子 上越市集落づくり推進員 清里区担当 野口 佳子 ・ 上越教育大学附属小学校 教諭 大岩恭子
4 事業の趣旨・目的	<p>清里地区、自然と歴史の中で育まれた生活文化を守り受け継いでいる豊かな暮らしがある。一方、学校教育では、2017・2018年に改訂された学習指導要領では、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成することを目指して、地域との連携の充実が一層求められている。家庭科、技術・家庭科家庭分野の新学習指導要領においては、「協力・協働」、「健康・快適・安全」、「生活文化の継承・創造」、「持続可能な社会の構築」が考察する視点として提示された。しかし、多忙な学校現場で、地域の教材研究をする時間は限られている。そこで、本事業では、清里区の中でも人口減少と高齢化が進みつつも、地域の活性化に取り組んでいる梨平集落を中心に、地域と交流し活性化の課題を連携して探り、その過程で得られる雪国の農村地域に伝わる生活文化を教材化し、学校の体験活動の内容として体系化することを目指す。</p>
5 事業活動報告	<p>4月末に、梨平町内会・清里総合、務所・本学打ち合わせの結果、以下の地域活性化に向けての取り組みを行うこととなり、計画を立てて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 附属小学校の交流活動のサポート ② 中等家庭科教育の授業を核にして、地域交流会を開催 <p>具体的な活動は、毎月訪問交流し、特に8月の例大祭には、附属小児童及び保護者、大学生が参加した。子どもによる地域の交流会(年3回)、地域と大学生の交流会の開催(地域住民10名 学生14名、市役所職員3名、教員1名)した。</p> <p>1～2月は、地域の人々と関わることと生活文化を中心に活動を振り返り、報告書(教材集)の原稿執筆を行った。</p>
6 本事業で得られた成果	<p>本事業では、町内会の方々からのご提案と機会を得て、地域の方々と子どもと大学生らの多様な交流活動を行うことができた。特に8月の例大祭に向けては、踊りやお囃子の伝統を子どもたちも受け継ぐとともに、例年より1.5倍の参加者となり賑わいを取り戻していた。</p> <p>家庭科の学習内容として、グローバル化に対応した日本の生活文化に関する内容を充実することも求められている。本事業を通して、町内会と市役所と大学が連携し、「地域の人々」と「小学生」と「家庭科教員を目指す学生」をつなぐ交流活動等から、雪国の農村地域の豊かな暮らしと活性化の意義を次世代に伝えることを目指した家庭科や総合的な学習の時間の生活文化の教材研究の参考となる冊子を作成することができた。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	『清里区梨平集落の暮らしの報告書—雪国のヒト・モノ・コトの探求—(仮)』を